

硬筆指定課題 評価の観点

《小6》 大平惠理 書

始めに、姿勢とえんぴつの持ち方を確かめます。
正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線の長さ
と方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と交わり方、
一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

※次のむすび方でもよい。「な」

説明の記号

外形

} 注意するところ

同じ広さのあき

広いあき
せまいあき

曲がり

方向

長さ

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

①

です。魚貝や野菜などの

②

です。魚貝や野菜などの

氏名は上と下のあきをそろえて、課題の文字より少し小さめに書きます。

小六

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。